



やまぐちけんりつやまぐちはくぶつかん
山口県立山口博物館だより

<https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>

2022年11月号

◇サイエンスやまぐち2022 終了!◇

各支部より選出された県内児童生徒の優秀な科学作品が
集結した「第76回山口県科学作品展 山口県科学研究
発表会」(10月28日~11月13日)は、皆様の
御協力のお陰をもちまして、無事終了することができま
した。



今年度も、児童生徒の継続的な努力、繊細な工夫、豊かな
発想が作品に込められ、大変すばらしい作品展となりました。御来館いただいた皆様からも、
「日常で気づきにくい着眼点や発想に触れて楽しく過ごせた。」「いろいろなジャンルに
興味がある子たちがいることが知れてよかった。」「児童生徒の努力を具体的に知ることが
できてよかった。」など、多くの賞賛の声が寄せられました。
来年度も多くの出品をお待ちしています。

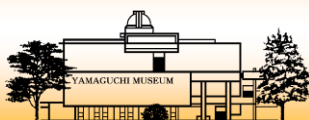
各学校に出品された 作品数の合計(概数)	山口県全体	自然の部	創造の部
	33,400	26,700	6,700

分類	出品 点数	優秀賞	奨励賞	入選	佳作
自然の部	160	4	4	17	34
創造の部	46	2	3	4	9

科学研究発表会 (小・中・高)	発表点数	優秀賞	奨励賞	入選
	21	2	3	4



←詳しくは山口博物館ウェブサイトへ



山口県立山口博物館

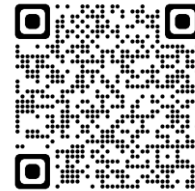
〒753-0073 山口市春日町8-2

TEL 083-922-0294

FAX 083-922-0353

◇^{でまえじゅぎょう}出前授業^{ごりよう}での御利用ありがとうございます◇

お陰^{かげ}さまで2学期もほぼ毎日^{がっき まいにち}、各地^{かくち}に出かけています。5月^{がつ}から現在^{げんざい}までに100件^{けん}を超える御利用^{ごりよう}がありました。今月^{こんげつ}は、ロボットプログラミング^{きょうしつ}教室^{かせき}、化石^{せき}レプリカ^{れぷりか}づくり、天体^{てんたい}教室^{きょうしつ}のプログラム^{ぷろぐらむ}の希望^{きぼう}が多^{おほ}かったです。3学期^{がっき}の予約^{よやく}も少し^{すこ}ずつ埋^うまってきています。お早^{はや}めに申^{もう}し込^こみください！



もう^{もう}こ^こ申し込^しみは^はこ^こち^ちから^ら



◇^{きかくてん}企画展^{てんたいぼうえんきょう}「やまはくの天体望遠鏡」^{かいさい}まもなく開催！！◇

企画展^{きかくてん}「レンズ^{れんず}でのぞいた宇宙^{うちゅう}の不思議^{ふしぎ} やまはくの天体望遠鏡^{てんたいぼうえんきょう}」が2022年^{ねん}12月^{がつ}9日^{にち}（金^{きん}）から2023年^{ねん}4月^{がつ}9日^{にち}（日^{にち}）まで、開催^{かいさい}されます。当館^{とうかん}では、88年前^{ねんまえ}の1934年^{ねん}（昭和^{しょうわ}9年^{ねん}）頃^{ごろ}から天体観望会^{てんたいかんぼうかい}を行^{おこな}った記録^{きろく}が残^{のこ}っています。今回^{こんかい}の企画展^{きかくてん}では、過去^{かこ}の教育普及活動^{きょういくふきゅうかつどう}で星^{ほし}の魅力^{みりょく}を伝^{つた}えた天体望遠鏡^{てんたいぼうえんきょう}について、普及活動^{ふきゅうかつどう}が始^{はじ}まった頃^{ころ}から現在^{げんざい}に至^{いた}るまでの天体望遠鏡^{てんたいぼうえんきょう}を展示^{てんじ}するとともに、天体望遠鏡^{てんたいぼうえんきょう}の仕組み^{しくみ}と教育普及活動^{きょういくふきゅうかつどう}の歴史^{れきし}について、美^{うつく}しい天体写真^{てんたいしゃしん}などを用^{もち}いながら紹^{しょうかい}介^{かい}します。ぜひ^{ぜひ}、来館^{らいかん}して宇宙^{うちゅう}の魅力^{みりょく}を感じ^{かん}てください。



ほしざらしゃしん
星空写真^{ほしざらしゃしん}がたくさん展示^{てんじ}してあるよ。見^みどころは、やまぐちけん
山口県^{やまぐちけん}で撮影^{さつえい}した星座^{せいざ}の写真^{しゃしん}だよ。



じゅんびちゅう
準備中^{じゅんびちゅう}の展示会場^{てんじかいじょう}のようすだよ。いろいろな望遠鏡^{ぼうえんきょう}の展示^{てんじ}は圧巻^{あつかん}だよ。

